



D: どんかと
M: 儲けようよ♪

すずきDMライター通信

平成31年3月発行 vol.32

発行者：鈴木DMライター事務所 代表 鈴木光治

〒553-0003

大阪市福島区福島4-6-2

吉川産業ビル 206号

電話（携帯）：080-2434-5395

メール：info@kyoukan-copy.com

URL：https://kyoukan-copy.com



「いやあ、映画って本当にいいもんですね～」

・・・懐かしいですね。映画評論家・水野晴郎さんのいつものセリフでしたね。

こんにちは。鈴木DMライター事務所です。

今月は書くネタが出来たので、サボらないで発行することが出来ました。

今月、映画館で2本も映画を観てしまいました。

いつも100円レンタルの古い映画しか見ないドケチな私が、映画館で映画を観るなんて、何年ぶりだか。。それにしてもいいですよ。映画館の大画面と”ズンッ・ズンッ”と響く大音響って。

で、どんな映画を観たかと言うと、2本とも偉大な音楽スターの波乱万丈の人生を描いた映画です。（私、音楽映画が大好きなもので。。）

1つ目は、ストーリーを練り上げ、そして俳優さんを使って、そのセリフと一挙手一投足の動きまでを綿密に演出した、今は亡き偉大なロックスターの人生を描いたエンターテインメント映画。

最後には、カメラワークを駆使し、観る者を興奮と感動のルツボに惹き込んでいく、まるで生前の本人と見間違えるような、大観衆を前にした圧巻のライブ再現映像もタップリ。

それにしてもすごいですね、この映画。聞いたところによると映画なのにリピーター続出らしい。。。。

実は私も、最後の大観衆を前にしたライブの再現シーンをもう一度観たい！

2つ目は、古い写真や若干の短いライブ映像、そして本人や関係者のインタビュー映像を織り込んで編集した、上映時間を淡々と進行する（私の目からはそう感じた）、まだ現役の、あるカリスマギタープレイヤーのドキュメンタリー映画。

両人とも波乱万丈の人生です。

両人とも、有頂天も奈落のどん底も経験し、そして復活。世界中の多くのファンを魅了してきました。

1つ目の映画は、QUEENのフレディ・マーキュリーの人生を描いた「ボヘミアン・ラプソディ」

2つ目の映画は、ギターの神様と称されるエリック・クラプトンの非道徳？な人生を赤裸々に描いたドキュメンタリー映画「12小節の人生」。（日本だったら間違いなくクスリで刑務所行き？かな）

※ドキュメンタリー映画なので仕方ありませんが、エリッククラプトンの熱狂的なファンでなければ退屈するかもしれません。・・・私、それほど熱狂的なファンと言うわけではないので、正直、眠かった。。。

すずきDMライター通信



で、広告屋の私が、この2本の映画を比較して何を思ったかと言うと・・・

例えば、プロフィールや会社紹介の文章です。

これまでの経歴をただ淡々と述べるだけのドキュメンタリーのような退屈な文章ではなく、お仕事を始めたきっかけや想い、有頂天になった事、“こんなはずじゃなかった” そんな事、製造業様なら商品開発の七転八倒のストーリーなどを織り込んで、エンターテイメントのように読み手をグイグイと惹き込む文章が出来ないかな？と、いう事なのです。(あ、でもウソは絶対ダメですよ)

何せ、どんなお仕事もライバルがいます。

その中から選ばれるには、商品やサービス以外の部分、つまり経営者様のお人柄や会社の持つ独自の魅力にも焦点を当てて、その部分をもっと魅力的に語らなければ・・・。そう思った次第です。

特にホームページの代表者様のプロフィールや会社紹介・会社の経営理念のページなど、社名を変えればライバル会社が使ってもわからないような文章になっていませんか？

ビジネスは、経営者1人1人が自分の人生の全てをかけてお客様を満足させるエンターテイメント。だから、まるで1本の映画のように、もっともっと、読み手を惹き込む面白い文章が出来るはず。と、いうわけで、そんな事を、対照的な2本の映画を観て考えたのでした。

編集後記

久しぶりに映画館で観た映画です。

大画面に大音響っていいですね。家のちっちゃなテレビと違って、お金払っただけの価値があります。ところで、映画のタイトルにもなった「ボヘミアン・ラプソディ」。約6分にもなる長い曲です。

この曲、曲が長すぎてラジオでは流してもらえないからレコード会社から反対されたのですが、結果はそんなことはありませんでした。

常識や慣習からくる思い込みって、疑って”モノは試し”で、チャレンジしてみるものですね。

3月のちょっと変わった記念日

(私の独断で選んだ、ちょっと変わった記念日をご紹介します)

安い、美味しい、量が多い。お菓子の優等生(私はそう思う)

3月20日 サブレの日

クッキーの一種で、バター風味とサクッとした食感が特徴のサブレ。ココナッツサブレやセサミサブレ、バターサブレなどを製造販売する日清シスコ株式会社(大阪府堺市)が制定。日付は3と20で「サブレ」と読む語呂合わせから。



すぐに役立つ366日記念日事典 創元社刊より
この本は、雑談や「販促キャンペーンをしたいけど、キャンペーンをする理由がない」時など、ネタに困っている時に活用できますよ。

画像は日清シスコ(株)様HPより。

【鈴木DMライター事務所のロゴマーク】



鈴木DMライター事務所と
関わりのある全ての人

招き猫ちゃんのように
人とお金を引き寄せて、
えびす様のようにニコニコと、
そして、ブタさんのように
まるまる豊かなビジネスと人生。

【すずきDMライター通信】発行者



鈴木DMライター事務所
代表の鈴木光治です。

【代表プロフィール】

1966年山口県柳井市生まれ。
転勤族の家庭に生まれ、東は茨城県、西は長崎県と全国を転々。
近畿大学卒業後、大阪地元の堅実な機械メーカー等に勤務。主に経理の仕事で通算15年のサラリーマンを経て今日に至る。
東北での勤務が長かったせいか、時々、九州・東北そして関西弁が入り混じったおかしな日本語を話すことがあるようで。



【すずきDMライター通信】が不要の方は、大変お手数ですが、弊所ホームページ (<https://kyoukan-copy.com>) に、購読解除専用メールフォームを設けています。このメールフォームよりお知らせください。